

これくしょん・ぎやらりに

2008年7月12日(土) ▶ 2008年9月4日(木)

ガラス—透明のむこうに Glass: Beyond Transparency

ガラスといえば、まず思い浮かぶのがその透明性と輝きでしょう。4000年以上の昔にガラスが発見されて以来、多くの努力が重ねられ、しだいに透明度が高くまばゆい輝きを持つガラスがつくられるようになりました。

「水晶（クリスタル）のよう」と賞賛され、その美しさを生かした制作が行われる一方で、より複雑で微妙な表現を実現するためにあえて透明感を抑えようとする動きも見られます。

この展覧会では、19世紀から現代にかけてガラスの透明性をめぐるって練り広げられたさまざまな取り組みを、[I 透き通る美しさと輝き] [II もっと深みと奥行きを!] [III 透明への新たなアプローチ] の3部構成でご紹介します。

「ガラス＝透明＋輝き」という誰もが認める公式を問い直すことで、ガラス芸術のより多彩な魅力を引き出す機会となればさいわいです。

I 透き通る美しさと輝き

No.	作家名	作品名	制作年	材質:技法
1	エミール・ガレ	鯉文花器	1878年頃	ガラス:型吹き、エナメル彩
2	エミール・ガレ	昆虫文双耳花器	1880年代	ガラス:宙吹き、エナメル彩、金彩、金箔貼付
3	エミール・ガレ	カマキリ文皿	1880年代	ガラス:金彩、エナメル彩
4	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1880年代	ガラス:エナメル彩
5	エミール・ガレ	カマキリ文花器	1880年代	ガラス:エナメル彩、金彩
6	ブルグン、シュヴェーラー工房	鳥に葉文手付瓶	19世紀後半	ガラス:エナメル彩、金彩
7	エスカリエ・ド・クリスタル	ゲンゴロウ文花器	1870年代	ガラス:エングレーヴィング、エナメル彩、金属の台
8	オーギュスト・ジャン	帯文花器	1880年頃	ガラス:宙吹き、エナメル彩、金彩
9	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	竹筒形花器	1880年頃	ガラス:金属酸化物による斑文、金箔封入、型吹き
10	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	松に美人図花器	1885年頃	ガラス:型吹き、エナメル彩
11	シーモン・ガート	馬に人物文コンポート	デザイン:1920年 制作:1925年	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
12	エードヴァルド・ハルド	皿付鉢・ヴェール	デザイン:1919年 制作:1922年	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
13	エードヴァルド・ハルド	鉢・葡萄の収穫	デザイン:1924年 制作:1925年	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
14	エードヴァルド・ハルド	鉢・花火	デザイン:1921年 制作:1927年頃	ガラス:型吹き、エングレーヴィング
15	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・5頭の馬	型:1925年	ガラス:型押し
16	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・勝利	型:1928年	ガラス:型押し
17	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・とんぼ	型:1928年	ガラス:型押し
18	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・孔雀の頭	型:1928年	ガラス:型押し
19	各務 鑛三	皿・追憶	1929(昭和4)年	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング
20	各務 鑛三	鉢・馬の目	1935(昭和10)年	ガラス:宙吹き、カット
21	各務 鑛三	花器	1938(昭和13)年	ガラス:宙吹き
22	各務 鑛三	雀文花器	1941(昭和16)年	ガラス:宙吹き、気泡封入、エングレーヴィング
23	各務 鑛三	鹿文花器	1948(昭和23)年頃	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング

II もっと深みと奥行きを！

No.	作家名	作品名	制作年	材質:技法
24	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898~1900年頃	ガラス:被せガラス、型吹き、マルケトリー、エングレーヴィング
25	エミール・ガレ	カトリア文花器	1900年頃	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
26	ガレ工房	風景文花器	1905~10年頃	ガラス:被せガラス、エッチング
27	ガレ工房	風景文舟形花器	1918~31年頃	ガラス:被せガラス、エッチング
28	ガレ工房	洋蘭文花器	1906~14年	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング
29	ガレ工房	プラム文花器	1925~30年頃	ガラス:被せガラス、エッチング、型吹き
30	エミール・ガレ	虫文花器	1889年	ガラス:被せガラス、型吹き、エングレーヴィング
31	エミール・ガレ	ガラス工場風景文花器	1900年	ガラス:被せガラス、金属箔封入、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
32	ドーム	枯葉文花器	20世紀初期	ガラス:被せガラス、エッチング
33	ドーム	マロニエ文花器	1907~10年頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング
34	ドーム	草の実文花器	1900年頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩
35	ドーム	あざみ文花器	1900年頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング、エングレーヴィング
36	ドーム	クロッカス文花器	1904~14年頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、アプリケ、エッチング、エングレーヴィング
37	ガレ工房	湖水風景文花器	1920年代	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング
38	ルネ・ラリック	スザンナ	型:1925年	ガラス:型押し
39	ルネ・ラリック	タイス	型:1925年	ガラス:型押し
40	ルネ・ラリック	皿・カリュプソ	型:1930年	ガラス:型押し
41	ルネ・ラリック	花器・バックスの巫女	型:1927年	ガラス:型押し
42	ドーム	蝶文蓋	1910年頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
43	ドーム	昆虫文蓋物	1910年頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
44	フランソワ=エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927年	ガラス:パート・ド・ヴェール
45	ガブリエル・アルジ=ルソー	けし文碗	1925年頃	ガラス:パート・ド・ヴェール
46	ガブリエル・アルジ=ルソー	あざみ文鉢	1922年	ガラス:パート・ド・ヴェール
47	ルイ・コムフォート・ティファニー	つる草文花器	1918年頃	ガラス:虹彩ガラス、型吹き、象眼、エングレーヴィング
48	ルイ・コムフォート・ティファニー	ランプ	1910年頃~20年頃	ガラス:虹彩ガラス、型吹き
49	ヨハン・レッツ・ワイトヴェエ工房	花文花器	1900~10年頃	ガラス:虹彩ガラス、型吹き、エナメル彩、金属の台
50	ヨハン・レッツ・ワイトヴェエ工房	おだまき形花器	1900年頃	ガラス:虹彩ガラス、宙吹き
51	岩田 藤七	水指・花	1932(昭和7)年	ガラス:型吹き
52	岩田 藤七	茶入・臙		ガラス:宙吹き
53	岩田 藤七	茶碗・玄影		ガラス:宙吹き
54	岩田 藤七	水指・雲間	1975(昭和50)年	ガラス:宙吹き
55	岩田 藤七	花器・輝	1975(昭和50)年	ガラス:宙吹き、アプリケ
56	岩田 久利	花器・楼蘭	1980(昭和55)年	ガラス:宙吹き
57	岩田 久利	水指・道成寺	1982(昭和57)年	ガラス:宙吹き、金属箔による装飾
58	岩田 久利	台付流雲壺	1993(平成5)年	ガラス:宙吹き
59	藤田 喬平	飾宮・飛鳥の夢	1999(平成10)年	ガラス、金:色ガラス粒とプラチナ箔による装飾、型吹き

III 透明への新たなアプローチ

No.	作家名	作品名	制作年	材質:技法
60	ベルナルド・ドゥジョング	円環	1994年	ガラス(光学ガラス):研磨、失透
61	家住 利男	P.040901	2001(平成13)年	板ガラス:接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨
62	瀧川 嘉子	境 KYOH No.53	1993(平成5)年	ガラス、鉄、ステンレス・スチール:板ガラス、接着
63	大木 泉	ウェイヴ	1991(平成3)年	ガラス:板ガラスの積み重ね
64	スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	球体の中の立方体	1979~90年	ガラス:キャスト、研磨
65	ハーヴィー K, リトルトン	向かい合う放物線の形	1981年	ガラス:被せガラス、カット
66	マーク・パイザー	「惑星」シリーズIS228	1985年	ガラス:鋳造、カット、研磨
67	ヤン・ゾリチャック	宇宙からの使者V	1984年	ガラス:薄板ガラス、金属酸化物によるコーティング、溶接、カット、研磨
68	ヤン・ゾリチャック	宇宙の信号XIX	1984年	ガラス:カット、研磨
69	リヴィオ・セグーソ	核	1982年	ガラス:宙吹き
70	クレグ・キャレンパーガー	タイタニック・シリーズ#33787	1987年	ガラス:キャスト、カット、研磨
71	菅澤 利雄	「本のシリーズ」より “禁書”	1982(昭和57)年	ガラス:鋳造、カット、クラック
72	デヴィッド P, ダウラー	陸の船	1982年	ガラス:型落し、カット
73	エルヴィン・アイシュ	インター=ネット	1997年	ガラス:型吹き、エナメル焼付、エングレーヴィング
74	ミハル・マハト	チェコ人の山	1991年	ガラス:宙吹き、着色
75	キャピィ・トンプソン	家族の壺	1993年	ガラス:宙吹き、エナメル焼付け、裏側から着色、透明エナメルによるグリザイユ
76	ウルリーカ・ヒュードマン=ヴァッリーン	誘惑 I	1991年	ガラス:宙吹き、エッチング、エナメル焼付、被せガラス
77	アン・ヴォルフ	彫刻・二重の顔	1988年	ガラス:エッチング、サンドブラスト、多色色被せ、台はエナメル彩色を施した石
78	ウルズラ・フォート	素描一日記より	1985年	ガラス:被せガラス、ステイニング、エングレーヴィング、着色、鉛砕
79	池本 一三	ポートレート'88 I	1988(昭和63)年	ガラス、銅:板ガラス、着色、サンドブラスト
80	クリスティアン・シュミット	ノー・モア・フィッシュ	1993年	ガラス:被せガラス、エングレーヴィング
81	カリン・シュテックレ=クルムバイン	人間の成長	1981年	ガラス:エングレーヴィング
82	ロナルド・ペネル	「危機に瀕して」ヒューマニストの表現の試み	1994年	ガラス:エングレーヴィング、カット、研磨
83	ジェイ・マズラー	街景	1982年	ガラス:カット、サンドブラスト、着色
84	カーラ・トリンクリー	青いボウル	1985年	ガラス:パート・ド・ヴェール
85	ロバート・パルスキー	生は暑い夏の日のように彼のもとを過ぎさった	1987年	ガラス:キャスト、接着、着色、サンドブラスト
86	ハンク・ムルタ・アダムス	王冠を戴いた頭	1991年	ガラス、銅:キャスト
87	扇田 克也	ワタシノアヲゾラ	1991(平成3)年	ガラス、銀箔:キャスト、サンドブラスト
88	扇田 克也	アメノヒモアル	1991(平成3)年	ガラス、銀箔:キャスト、サンドブラスト